



この物語に登場する人・モノ・場所

モドキ



主人公のモドキは、川越市で里神楽に取り組んでおられる「梅鉢会」の神楽師・白石信人さんが演じています。モドキとは真似をするの意味。神楽の登場人物。身に着けているお面も実際の神楽で使われているものです。

[里神楽梅鉢会](#) [Instagram](#) [Facebook](#)

足袋

物語の中でモドキが履いている足袋は、かつて「日本一の足袋のまち」と呼ばれた行田市で足袋作りを続けている「イサミコーポレーション」による「イサミタビ」です。ひとつひとつ丁寧に手作りで作られています。



[\(株\) イサミコーポレーション](#) [Instagram](#) [X \(旧Twitter\)](#)

ヤギ



旅の道連れとして登場するのは、熊谷市のソーシャルファーム「埼玉福興」で飼われている子どものヤギさんです。撮影現場までの運搬や現場でのお世話は、毛呂山町の「ヤギワールド」が担当してくださいました。

[埼玉福興 \(株\)](#) [X \(Twitter\)](#)

ロケ地

物語のスタート地点になったのは、埼玉県名発祥の地、行田市にある「さきたま古墳群」。撮影は、国宝「金錯銘鉄剣」が出土したことで有名な「稲荷山古墳」で行われました。

[埼玉県立さきたま史跡の博物館](#)

